

平成26年8月25日

小郡市議会議長

井上勝彦 殿

議会運営委員会

平成26年度 議会運営委員会視察報告について  
標記の件について報告します。

日 程

平成26年8月18日～8月20日

視 察 先

岐阜県関市 8月18日 14:00～16:00

視 察 内 容

『議会へのタブレット導入について』

関市は平成17年2月の市町村合併により1市2町3村が合併し、国政調査により日本の真ん中に位置している、世界が認めた「折れず、曲がらず、よく切れる」、七百余年の歴史と伝統が世界に誇る刃物の都として栄えてきた。

関市役所において関市議会の「議会へのタブレット導入」について、足立市議会議員並びに猿渡市議会議員より説明を受けた。

(1) 導入の目的及び導入の経緯

- ①ペーパーレス化を図り事務の効率化、コスト削減、省資源化を推進
- ②平成24年議員からタブレット端末導入の提案があり、12月補正予算で購入費を計上し、平成25年2月iPad12台を購入(+Wi-fiルーター1台購入)
- ③3月定例会より常任委員会・特別委員会にて試験的使用、4月より個人所有のiPadも同様に扱うことを確認、
- ④6月定例会より随時ペーパーレス化するとともに、更にiPad11台を購入し10月「タブレット端末使用規定」を承認
- ⑤12月定例会より完全ペーパーレス化を実施し、今後快適なWi-fi環境の整備と会派での活用を推進

## (2) データ配信のしくみ

事務局のパソコン→メールで事務局の iPad へ→クラウドサーバへ(データ保存)

→各議員の iPad からデータを閲覧

## (3) iPad の便利な機能(メリット)と活用

①データ通信機能……議案等クラウドサーバを利用し最新の情報を共有

②カレンダー機能……スケジュールを共有、事務局で一括管理

③カメラ機能……現場写真などの整理や送信も簡単

④メール機能……従来のFAXにかえてメールで通知

## (4) 導入にかかる経費とペーパーレス化の実績

### ① 経 費

①iPad本体 42,800 円×23 台=984,400 円

②Wifiルータ 33,600×2 台=67,200 円

③契約事務手数料 3,150×2 台=6,300 円

④Adobe Acrobat(ソフト)38,745 円×2=77,490 円

⑤消耗品(カバー・保護フィルム・iPad 置台)137,100 円

総合計 1,272,490 円(ルータ月額使用料 2 年間 4,966 円)

### ② 使用する紙の削減

#### ①平成 25 年 9 月定例会

議員1人あたり 900 枚 議員 24 人+事務局 6 人 合計 27,000 枚

紙代(0.46 円)+コピー代(3 円)、1枚あたり 3.46 円×27,000 枚=93,420 円

#### ②平成 25 年 12 月定例会

議員1人あたり 415 枚 議員 24 人+事務局 6 人 合計 12,450 枚

紙代(0.46 円)+コピー代(3 円)、1枚あたり 3.46 円×12,450 枚=43,077 円

#### ③平成 26 年 3 月定例会

議員1人あたり 1,000 枚 議員 24 人+事務局 6 人 合計 30,000 枚

委員会 1,760 枚 3.46 円×31,760 枚=109,889 円

#### ④平成 26 年度削減実績と見込み

◇3 月定例会 31,760 枚 ◇5 月臨時会 3,000 枚 ◇6 月定例会 8,040 枚

◇7 月臨時会 1,350 枚 ◇9 月臨時会 27,000 枚 ◇12 月定例会 15,000 枚

合計 86,150 枚×0.51 円(紙代単価)=302,386 円(削減費)

◇印刷製本等に係る人件費や委託費が削減される

### ③今後の課題

#### ① タブレット端末のさらなる活用の推進

◎操作方法の習得 …… 手書きメモ、新しいアプリ

◎会議以外での活用 …… 議員活動、会派での活用

#### ② メールなどの通知方法

◎携帯メールとの併用が必要となっている

タブレット端末導入にあたっては、先進地の鳥羽市を議会運営委員会で視察し、代表者会にかけすんなりと賛成されたことから、平成 25 年 2 月タブレットを施行的に導入以来、数回の議員向け研修や実証実験を経て、紙の削減と議会活動及び議員活動に効果があると認め、また 6 月定例会から個人所有も含めた全議員にタブレットを貸与し、ペーパーレス化を実施した。

従前は多くの資料を持参していたがタブレット1台で楽になり、心配された高齢の議員も研修により資料を見ることには支障はないが、習得には差があるものの本人の努力次第であり最低限度の到達はしているとのこと。

特にタブレット端末を導入したことにより、自宅への議案の配布や法律の更新などによる議案の差し替え等、メールでデータを送り見て更新出来ることで済むことから、今まで事務局として大変だった作業の手間が省けているところが一番大きい。

また、タブレットの導入にかかる経費は、先行導入されている他都市の議会より安価な経費で導入できた、今後は操作の習熟度の向上、新たな活用方法の研究、通信環境の整備を行い更なるタブレット導入の高度化を図るとのこと。

様々な点からタブレット端末の導入は、紙の削減、印刷製本費や人件費、委託費など多くの削減ができメリットは大きい、小都市においても早期タブレット導入に向けて、今後議員間の協議と研修を重ねる必要がある。

平成26年8月25日

小郡市議会議長

井上 勝彦 様

平成26年度 議会運営委員会視察報告について

標記の件について報告します。

【期 日】 平成26年8月19日(火) 13:30~15:30

【視 察 先】 岐阜県高山市

(概要) 人口: 91,785人 (H26.7.1現在) 面積: 2,177.67 km<sup>2</sup> (◎小郡市 45.5 km<sup>2</sup>)

平成17年2月1日、1市2町7村が合併し現在に至る。合併特例法により議員定数36人で始め、平成23年の市議会議員選挙から定数24名とした。平成21年12月、議員全員で構成する「議会改革等に関する特別委員会」を設置し、議論・検討を重ね、平成23年3月定例会において「高山市議会基本条例」を全会一致で可決制定、5月1日に施行。平成25年度日経グローバル全国議会改革度ランキングで3位となっている。

【視察内容】 議論する議会を目指して～高山市議会における議会改革の取り組み～

1 「議会改革」への取り組みの経緯

平成8年～平成14年 第一次議会改革

各党派、事務局から提案された65件について市議会議長会の「市議会の活性化方策」に従って分類し、特別委員会に置いて調査・研究

◇主な実施事項

- ・一般質問の見直し 一人60分(質問・答弁含む) ⇒一人40分(質問のみ)
- ・委員会質疑での一問一答制の導入 一人5回まで⇒時間回数制限なし
- ・議員の各種審議会参画の見直し
- ・委員会の所管事務調査の活用 閉会中の継続調査を積極的に行う
- ・請願手続きの緩和 請願者の押印の廃止
- ・会議規則、委員会条例の見直し
- ・情報公開取扱い基準の制定 など

2 「議会改革等に関する特別委員会」の設置

◇高山市議会のあるべき姿を実現するための基本理念

- ①市民の代表機関としての議会
- ②二元代表制の一翼を担う議会
- ③議員間の討議を重視し議会としての合意形成を図る

### 3 議員定数の決定プロセス

### 4 高山市議会基本条例の制定とその特徴

#### (1) 実践を通じて策定した条例

#### (2) 議論する議会をつくる

議員どうしが積極的に対話し、議論を深める

H24 各委員会から上げられた5つのテーマで政策討論会を実施

#### (3) 政策提言によって議会機能を強化

組織的な政策提言を行うことを通じて強力な監視型議会を目指す

年間計画に委員会の目標を政策提言と位置づけ、提言書を執行部に提出

#### (4) 市民参加の多様な機会を確保

##### 【地域別市民意見交換会】

H25 全20会場 4班で対応 参加者合計 630人

##### 【分野別市民意見交換会】

H25 10のテーマで委員会ごとに関係団体を対象として実施

#### (5) 議決事件の追加条項を設け、市政に政策立案段階から関与する

#### (6) 議員報酬に関する議案は、報酬等審議会の答申に基づくこと

#### (7) 年1回、基本条例に基づいて議会活動を評価

### 5 より深い審議・審査の実施~議決責任を果たすために

#### ○事前協議の取りやめ

#### ○議会審議と委員会審査の充実

論点整理、現地調査、参考人招致、附帯決議等を検討

議員間討議の導入

#### ○委員会調査の充実

毎月定例化

委員会調査の最終目標を「政策提言」とすることで、活動の統一・シンプル化

#### ○反問

##### 【視察しての所感】

#### ①委員会所管事務調査、意見交換会、政策討論会等、諸々の議会活動が連動し政策提言に向けて有機的につながっている。

委員会活動の目標を政策提言と明確に打ち出し、そのための分野別意見交換会であり所管事務調査であるというように、活動に一貫性があるところは大いに見習うべきである。

#### ②議論する議会に向けた取り組み

政策討論会では、テーマを決めて議員間で討論し議論を深めている。議会の本来あるべき姿である。小郡市議会でもぜひ取り入れていきたい。

#### ③小郡市議会もいいところには行っている

高山市議会の動きは多くの部分で小郡市議会と重なるところであった。ただ、小郡市議会よりさらに議会活動の目標をはっきり定め、すべての活動を有機的につなげているように思われた。今後取り組むべきところは、正にこの部分であることがはっきりした。